

台湾鐵路管理局と技術協力に関する協定書を締結しました

平成 28 年 1 月 25 日
公益財団法人鉄道総合技術研究所

公益財団法人鉄道総合技術研究所（以下、鉄道総研）は、去る 1 月 21 日に、台湾鐵路管理局との技術協力に関する協定書を締結しましたのでお知らせします。

鉄道総研は、平成 26 年に台湾鐵路管理局からの依頼により電車線設備故障に係る技術協力を実施しました。その後、台湾鐵路管理局から包括的な技術協力協定の締結に関する提案がありました。鉄道総研が台湾鐵路管理局と技術協力関係を構築することは、鉄道総研および日本の鉄道の今後の海外展開に資すると判断されることから、標記の協定書を締結することとなりました。

これを受けて、1 月 21 日に台湾鐵路管理局の周永暉局長が鉄道総研に来所し、鉄道総研の高井秀之専務理事と技術協力協定文書に署名しました。なお、台湾鐵路管理局は台湾交通部（国土交通省に相当）の管轄下にある鉄道現業機関であり、台湾高速鐵路会社が運営する高速鉄道は含まれていません。

技術協力の主な実施内容は以下の通りです。

- ・双方の専門家間の情報交換（客員研究員の招聘等を含む）
- ・相互に合意されるその他の協力形態
- ・各々の出版物の交換

なお、具体的な技術協力の実施分野は、今後双方協議の上、決定する予定です。



写真 協定書署名後の、台湾鐵路管理局 周永暉局長（左）と
鉄道総合技術研究所 高井秀之専務理事（右）